

第4回 令和元年度木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

<主な意見>

令和2年1月31日に開催した、委員会での主な意見は以下の通りでした。

○KPI(重要業績評価指標)の目標値を達成したら「全てが上手くいった」と評価するのか。

→数値だけで評価するものではない。内容についても、委員会等で評価していただく。

○数値目標が「低い」と感じるものがある。どのように数値目標を設定したのか。

→目標値については、各課と協議して設定した。「政策的な目標として設定したもの」「現在までの進捗状況を勘案したもの」の両面がある。

○施策目標に対して、関連が薄いと思われるKPIがあるが、どのようにKPIを設定したのか。

→総合戦略では必ずKPIを設定する必要があるが、全ての目標が数値で評価できるものばかりではない。そのため、目標の意図を損なわないものの中から目標数値を設定せざるを得ないものがある。

○数値目標の達成のレベルがわかりづらい、例えば「多言語対応」で言えば、何をすれば目標の1カウントとするのか。

→数値の達成だけで「上手くいった」とは言えないが、何か目安がないと進捗しているのかどうかがわからない。目標の設定は市が「地方創生」に取り組む意思表示である。

○高齢化している地域では「高齢者の足」の問題が大きい。個人の「助け合い」では解決できなくなってきており、市や民間企業の協力が必要。

→市としては交通空白地をなくすための努力はしているが、交通の利便性を上げるためにには「利用者がいる」ことが必須になる。バスにおいても空のバスを走らせていては継続が困難になるため「利用していただくこと」が重要。福祉有償運送についても支援していきたい。